

整形外科専門医プログラム

定員
8名



プログラム責任者
整形外科学講座
宮腰 尚久 教授

専門研修
担当者先
連絡先
永澤 博幸 医学部講師
TEL.018-884-6148 FAX.018-836-2617
E-mail seiikei@doc.med.akita-u.ac.jp
HP <https://www.med.akita-u.ac.jp/~seiikei/>



プログラムの特徴

本プログラムの特徴は、十分な臨床能力の獲得とともに研究遂行能力も養うことで、世界でも戦える整形外科医を育成することです。その道筋として、日本整形外科学会3学術集会(学術総会、基礎学術集会、骨軟部腫瘍学術集会)をはじめとして、日本脊椎脊髄病学会、日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会、日本リハビリテーション医学会、日本リウマチ学会、日本膝関節鏡スポーツ整形外科学会、日本股関節学会、日本骨折治療学会、日本四肢再建・創外固定学会、日本手外科学会、日本人工関節学会など、多くの学会での発表の機会を設けます。発表演題は一流英文雑誌への投稿から採択までを指導します。

さらに、国際学会[米国骨代謝学会(ASBMR)、米国整形外科学会(AAOS)、米国手外科学会(ASSH)、欧州リウマチ学会(EULAR)など]での発表の機会があります。また、希望者には専門研修中あるいは専門医取得後に国内外での病院研修も行っています。いわゆるコロナ禍の時期には中断していましたが、コロナ禍前の実績としては獨協医科大学埼玉医療センター(埼玉県:外傷学や創外固定法の研修)、羊ヶ丘病院(札幌市:足の外科や関節鏡手術の研修)、カルフォルニア大学サンフランシスコ校附属病院(サンフランシスコ州:外傷学の研修)での研修を行っていました。

プログラムの説明

秋田大学の整形外科専門医コースでは、専門医資格と学位(医学博士)の両方を取得します。本コースでは、それぞれの取得までの期間が最短に設定されていることが大きな特徴です。2000年以降の入局者の学位および専門医取得率は100%です。学位論文は一流英文誌へ投稿しますが、早ければ、学位と専門医を同時に取得することが可能です。また、外科系の医師にとって手術手技の習得などの臨床能力を高めることは非常に重要です。秋田大学整形外科の研修は、秋田県全域の関連病院で行われるため、満遍なく多くの疾患を学ぶことができますし、さらに、それぞれの研修施設に、脊椎脊髄外科、股関節外科、膝関節外科、足関節外科、肩肘関節外科、手外科、外傷、小児整形外科、リウマチ、リハビリテーションなどを専門とする優秀な人材が赴任しています。そのために整形外科疾患全般をバランスよく経験でき、その中から将来の専門分野を選択できます。手術は難易度に従って段階的に研修初期から執刀できますので、コース終了までには非常に多くの多岐にわたる

手術手技を習得できます。また、どの関連病院に勤務していても、大学病院が主導で毎月7~8回行っているオンラインでの臨床研究ミーティングに参加できるため、整形外科領域すべての最新の知識を常にアップデートすることができます。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種学会認定専門医数(秋田大学医学部附属病院整形外科、リハビリテーション科)
日本整形外科学会専門医:15名、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医:6名、日本脊椎脊髄病学会指導医:6名、日本脊椎脊髄病学会・日本脊髄外科学会脊椎脊髄外科専門医:6名、日本整形外科学会認定スポーツ医:3名、日本関節鏡膝スポーツ整形外科学会関節鏡技術認定医:1名、日本リハビリテーション医学会専門医:3名、日本骨粗鬆症学会認定医:5名

■各種学会施設認定
日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本リウマチ学会、日本リハビリテーション医学会の認定施設

■指導担当医師数と出身大学・出身高校
○14名
○主な出身大学…秋田大学、関西医科大学
○出身高校…秋田高校、仙台二高、千葉東、福島高校、青森高校、札幌北、県立千葉、弘前高校、大館鳳鳴、横手、本荘、盛岡一高

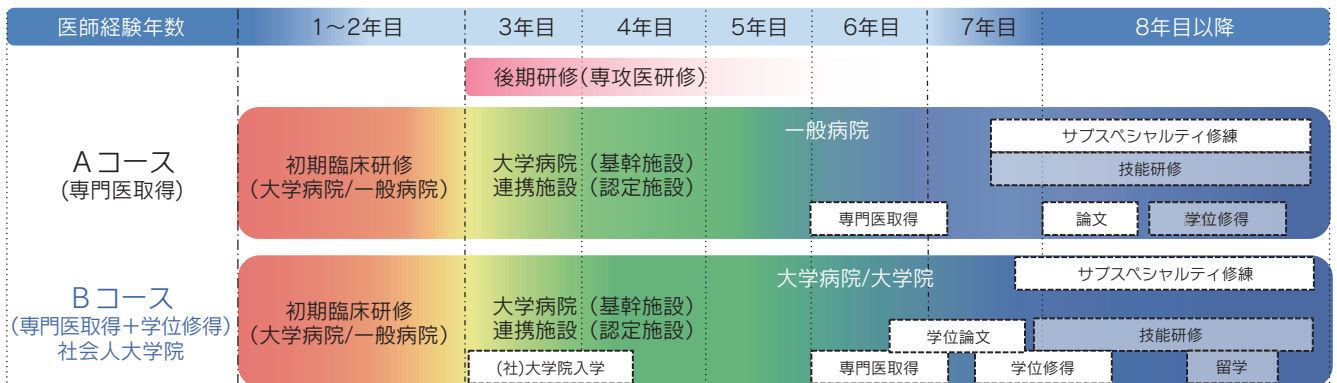
■主な連携病院
秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、中通総合病院、秋田県立医療療育センター、秋田労災病院、北秋田市民病院、能代厚生医療センター、男鹿みなと市民病院、湖東厚生病院、大曲厚生医療センター、市立角館総合病院、市立大森病院、市立横手病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院、町立羽後病院、由利組合総合病院、本荘第一病院

■応援病院
能代山本医師会病院、大湯リハビリテーション病院、県立リハビリテーション・精神医療センター、国立病院機構あきた病院、佐藤病院、市立田沢湖病院、五十嵐記念病院、藤原記念病院

■プロスポーツサポート
秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、アランマーレ秋田、北都銀行バドミントン部

■課外活動
バスケットボール、バドミントン、硬式テニス、野球、剣道、陸上、サッカー、書道

取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャリティ:脊椎脊髄病専門医、手外科専門医、リウマチ専門医